

フロンティア工学専攻	研究分野	人間適応制御	Lab. ID FE09
研究室Webサイト	https://biomed.w3.kanazawa-u.ac.jp/		
研究課題の概要			
この研究室では、ヒトの心臓・血管系や身体運動系などを対象に、新しい生体計測法や制御法を考案・開発し、これらを用いた生体機能の解明、特に生体の高度な適応制御機能と自律調節機構、或いは身体運動制御機能等をバイオメカニクスの解明する研究を行っています。さらに、これらの知見を、基礎・臨床医学分野はもとより福祉や在宅医療に役立てることを目標としています。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
博士前期/後期課程の学生は、毎週行われる研究室ゼミに参加し、研究グループごとに進捗状況などを報告し、議論を行う。実際の研究の進捗に関しては、基本的には、各研究グループの学生・院生と担当教員のディスカッションや実験を通して進められる。時には、外部の研究グループとの共同研究や研究会などを通して研究が進められる。また、必要なときには、就職活動や生活、その他の面でもアドバイスをを行う。			
研究室では現在、1人1台PCが与えられ、自由に使用することが出来ます(学生A)。 研究室の雰囲気は、真面目に集中して作業を進めることもあれば、学生同士で談笑したりすることもあり、和やかです(学生B)。 院試の時期には、先輩もサポートしてくれるので研究と勉強をしっかりと両立して取り組むことが出来ます(学生C)。 関連学会等での発表は、視野が広がり、研究室内とは異なる視点からの意見をいただけて研究の理解が深まる貴重な機会です(学生D)。			
教員からのメッセージ			
研究は(同学年で比較した場合)、1人1テーマで研究を行うこととなります。但し、テーマによっては、別の学年に同様の研究を行う学生がいる場合もあります。特に卒研生に対しては、研究に対して受け身になるのではなく、大学4年間もしくは人生約20年分の集大成として研究に取り組んで欲しいところです。博士課程の院生に関しては、それ以上に研究成果を上乗せ出来ることを期待しています。人生のうち大切な若い時期を大学・研究室で過ごすわけです。今後のためになる有意義な研究生活を送りましょう。			
研究室連絡先メールアドレス	内藤 尚 <hisashi-naito *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		